

第8回「砂礫の最小・最大密度試験方法基準化委員会」議事録

日 時:平成 17 年 10 月 5 日(水)10:00～12:30

場 所:社団法人 地盤工学会 3F会議室

出 席:國生委員長, 畑中副委員長, 原幹事, 小林幹事, 桑島委員, 後藤委員, 佐藤(弘)委員, 下村委員, ハザリカ委員, 村山委員, 山田委員

欠 席:稲垣委員, 工藤委員, 向後委員, 木幡委員, 酒井委員, 関根委員, 田邊委員

議 事:

1. 基準部会への上申結果報告
2. 基準案, 同解説, データシート案の討議
3. 委員会スケジュールに関する審議
4. その他
5. 次回について

議事内容:

1. 基準部会への上申結果報告

【資料 05-3-2】 2005/8/30 基準部会での指摘事項と対応案

【資料 05-3-3】 「礫の最小密度・最大密度試験」公示文案(最終案)

- ・ 公示文(案)については承認が得られた。最終版はすでに提出済みで「土と基礎」11月号に掲載予定。
- ・ 基準(案)については, 主に図表について指摘事項があったもののすべて軽微な修正である。現在, 専門業者にトレースを依頼しており, 仕上がり次第親委員会に提出する予定。大きな修正は今後ないと思われる。

2. 基準案, 同解説, データシート案の討議

【資料 05-3-4】 礫の最小密度・最大密度試験 基準(案)

【資料 05-3-5】 砂礫の最小密度・最大密度試験 解説(案)

【資料 05-3-6】 礫の最小密度・最大密度試験 データシート(案)

【資料 05-3-10】 2005/8/24 親委員会での指摘事項と対応案

- ・ 基準(案)については上記参照。
- ・ 解説(案)については 1.3～1.4 はほぼ意見が出揃い大きな修正はないと思われる。今後, 1.5 について詳細な議論をして修正していく。
- ・ データシート(案)については, 以下のとおり修正を行ったうえで, 意見が分かれたところは2種類のデータシートを作成して親委員会に提出する。

<データシート（案）の修正点>

- ・（測定シート）特記事項の「（使用回数は 2 回）」は削除．
- ・（測定シート）含水比の  $m_b$  のフォント．
- ・（測定シート）特記事項の 1）「など」を削除．
- ・（測定シート）実験器具モールドの「カラー上端とモールド底面との距離」は基準（案）に合わせ，「カラー上部からモールド底面までの深さ」に修正．
- ・（測定シート）実験器具のパイプレーターとモールドとの間の線は太い方がいいのでは？  
→データシート作成の細則を確認する．
- ・（報告シート）特記事項の 1）， $f_i$  の「粒度分布から読みとった」を削除．
- ・（報告シート）下付き記号の  $i$  を確認する．
- ・（報告シート）「 - 」を統一．
- ・（報告シート）最小密度，最大密度の値が測定シートと合っていない．
- ・（報告シート）合成吸水率を削除．
- ・（報告シート）密度の呼び方，記号に関しては，JIS 基準に準拠したものと，JGS 基準に準拠したものとを作成して 2 種提出する．

3．委員会スケジュールに関する審議

【資料 05-3-7】 委員会進捗状況と今後の活動内容について

【資料 05-3-8】 委員会工程表

【資料 05-3-11】 メール審議

- ・基準（案）の英文は國生委員長が原案作成後，ハザリカ委員がチェックする．
- ・解説（案）は早速 WG を開催し，1.5 を精査する．12 月に親委員会に上申予定．
- ・データシート（案）は，本日の検討内容を受けて，10 月上旬に親委員会に再上申する．  
その後，データシート情報化委員会に上申，最終的には基準部会の承認が必要．
- ・委員会の延長の申請を行うが，来年度の地盤工学会の組織がまだはっきりとしないため，多少時間がかかる．親委員会からも協力を得る．

4．その他

【資料 05-3-9】 トレースデータ作成見積書

- ・基準（案）についてはトレースを依頼しているので費用が発生する．（報告）

5．次回について

- ・次回委員会は 2006/2/9（木）10:00～ JGS 会館にて開催予定．
- ・次回解説作成・データシート作成 WG は 11/7（月）19:00～ 中央大学理工学部校舎にて開催予定．

以 上